

かくだ市議会だより



第415回定例会

- 質疑・討論・議案審議結果 … 2～3
- 議会日誌 …………… 3
- 一般質問 …………… 4～9

角田市議会から

- 議会だよりモニター募集 …………… 10

【今号の表紙】『新年の高蔵寺』

新年を迎え、お詣りに行って来ました。
《撮影》角田市高倉 大沼 義治 さん
撮影日：2022年1月1日
場 所：角田市高倉

表紙写真・イラスト等募集しています

詳細は角田市ウェブサイト内「かくだ市議会だより表紙写真・イラスト等募集」をご覧ください。



第415回 12月定例会

第415回定例会は12月3日から12月21日までの19日間の会期で開かれました。

市長から提案のあった条例の制定・一部改正、補正予算、指定管理者の指定などの議案14件を審議し、原案のとおり可決しました。

また、一般質問では、10人の議員が市政全般にわたり論戦を繰り広げました。(4ページから9ページ参照)

一般・特別会計補正予算一覧 (単位:千円)

Table with 3 columns: 会計区分, 補正額(12月), 補正後の額. Rows include 一般会計 and 特別会計(介護保険).

一般会計の主な補正予算項目

Table with 2 columns: 項目, 補正額. Rows include 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金, 子育て世帯への臨時特別給付金給付事務費補助金, ふるさと納税寄附金.

歳出(支出) (単位:千円)

Table with 2 columns: 項目, 補正額. Rows include ふるさと納税事業, 子育て世帯への臨時特別給付金支給事業, 農作物災害対策事業.

議案第76号

角田自治センター・北郷自治センターの移転

Table with 2 columns: センター名, 移転先. Rows include 角田自治センター, 北郷自治センター.

総務産業常任委員会での質疑

移転先の建物の形状や面積は現状とは異なるが、社会教育事業の継続は可能か。

現在、角田自治センターの軽運動場ではどのような運動の使用があるのか。

卓球、バドミントン、太極拳、ダンス、ヨガ、体操、剣道である。移転先ではバドミントンと剣道の使用が難しいため、体育施設を活用いただくようになる。

本会議における討論

反対討論... 日下 七郎

長寿命化計画によると、築47年を経過した角田自治センターの移転・廃止の検討に際し、利用者等から施設を大規模改修し、継続を求められたことに対し、市長より市民センター会議室への移転も可能との提案があったにも関わらず、突然、角田駅コミュニティプラザを廃止とし、角田自治センターを移転すること、条例改正に反対する。

賛成討論... 武藤 広一

長寿命化計画に基づき、角田自治センターの移転先が市民センターから様々な理由により、検討の結果、角田駅コミュニティプラザへ、北郷自治センターは旧北郷児童センターへそれぞれ移転するもので、いずれも地域の拠点となり得る。また、西根自治センターは地番の誤りを修正するもので、速やかな事務手続きを要望し、賛成する。



▲角田自治センターの移転先となる角田駅コミュニティプラザ

議案第77号

一般会計補正予算(第12号)

農作物災害対策事業(第4年産米生産者特別助成事業補助金)

補助金額の根拠は。

令和3年産米価下落に伴い、稲作農業者へ次期作に向けた支援策を創設するもの。

議案第78号

介護保険特別会計補正予算(第4号)

地域介護予防活動支援事業(高齢者生きがい活動促進事業補助金)

高齢者が健康づくり活動を行う環境を整備するため支援を行うもの。

本事業の今後の見通しは。

国庫補助を活用し、今回モデル的に生活支援コーデイネーターを配置している桜自治センターに周知を行った。次年度も市内で普及するための拠点整備の周知を検討している。

一般の団体も申請が可能なのか。

市内で活動する特定非営利法人、ボランティア団体、地域の団体が対象となり得る。

議案第73号

角田市レンタサイクル条例の制定

Table with 2 columns: 使用時間, 使用料金. Rows include 使用時間 and 使用料金.

総務産業常任委員会での質疑

角田駅コミュニティプラザを廃止することに伴い、電動アシスト自転車などの使用について条例を制定するもの。

議案第86号

一般会計補正予算(第13号)

生活困窮世帯等暖房燃料購入助成金支給事業

原油価格高騰により影響を受ける生活困窮世帯を対象に、5千円の支給を1回限り実施するもの。

対象となる世帯の内訳は。

非課税世帯が3千世帯、新築コロナの影響による家計急変世帯400世帯を見込んでいる。

議案審議結果一覧

賛成と反対がわかれたもの

Table with 10 columns: 提出者, 議案番号, 件名, 審議結果, 会派一心, 市民クラブ, 日本共産党, 無党派, etc.

全員が賛成したもの

Table with 2 columns: 提審, 議案番号, 件名. Rows include 議案第74号, 議案第75号, etc.

議会日誌

- 11月 1日 議会運営委員会 会派代表者会議
10月 27日 議会運営委員会 会派代表者会議
12月 1日 本会議(第1日)・会派代表者会議
12月 3日 本会議(第2日)・会派代表者会議
12月 7日 本会議(第3日)・議員協議会
12月 15日 本会議(第4日)・議会運営委員会
12月 17日 本会議(第5日)・議員協議会
12月 21日 議会運営委員会・議会だより編集会議
12月 26日 本会議(第1日)・議会だより編集会議
12月 29日 本会議(第1日)・議会だより編集会議



災害支援車「LCX」の導入について

武藤 広一

議員▼ご当地ニュースによれば、石川県小松市では、子育てにかかる経済的・精神的負担の軽減につなげようと、赤ちゃん無償で提供することについて、12月議会に提出する補正予算案に事業費を盛り込むようだ。対象になるのは生後3カ月から1歳までの赤ちゃんを育

育児家庭への紙おむつ無償提供について
議員▼ご当地ニュースによれば、石川県小松市では、子育てにかかる経済的・精神的負担の軽減につなげようと、赤ちゃん無償で提供することについて、12月議会に提出する補正予算案に事業費を盛り込むようだ。対象になるのは生後3カ月から1歳までの赤ちゃんを育

市長▼市では、家庭への紙おむつの無償提供はしていないが、第6次長期総合計画(案)の重点項目において、子育てにかかる保護者の経済的負担を軽減し、安心して産み育てる環境整備を展開していく予定である。今後は、アフターコロナの状況も加味しながら、小松市の取組も含め、本市に見合った方法を検討したい。

市長▼市では、家庭への紙おむつの無償提供はしていないが、第6次長期総合計画(案)の重点項目において、子育てにかかる保護者の経済的負担を軽減し、安心して産み育てる環境整備を展開していく予定である。今後は、アフターコロナの状況も加味しながら、小松市の取組も含め、本市に見合った方法を検討したい。

議員▼市道路線番号2062・大和橋内線は起点が島田字大和橋24-1、終点が島田字島内37、総延長が740.8メートル、平均幅員が5.1メートル。市道認定は昭和57年12月20日、供用開始は昭和57年12月21日のことである。市道大和橋島内線起点の市道敷地(角田市所有、公衆用道路、島田字大和橋24-1)、熱日高彦神社(宮司 黒須貫)の鳥居等が設置されていることや、市道大和橋島内線の市道敷地に熱日高彦神社所有地(島田字島内1-1、宅地、境内)を利用してあり、これは角田市の財産と熱日高彦神社の財産を相互に財産供与と思われる。以上のことについて市長の見解を問う。

議員▼市道路線番号2062・大和橋内線は起点が島田字大和橋24-1、終点が島田字島内37、総延長が740.8メートル、平均幅員が5.1メートル。市道認定は昭和57年12月20日、供用開始は昭和57年12月21日のことである。市道大和橋島内線起点の市道敷地(角田市所有、公衆用道路、島田字大和橋24-1)、熱日高彦神社(宮司 黒須貫)の鳥居等が設置されていることや、市道大和橋島内線の市道敷地に熱日高彦神社所有地(島田字島内1-1、宅地、境内)を利用してあり、これは角田市の財産と熱日高彦神社の財産を相互に財産供与と思われる。以上のことについて市長の見解を問う。

議員▼鳥居の設置場所はどこか。
市長▼場所は、県道から市道へ入ったところである。
議員▼道路法の道路台帳(図面)に占有物件の記載の規定があるか。
市長▼道路台帳の図面に鳥居の表示ということでは表示はされていない。
議員▼道路台帳の図面に鳥居が表示されていることは、市側が熱日高彦神社に市道敷地を供与ではないか。
市長▼相互の供与については、ない。

議員▼鳥居の設置場所はどこか。
市長▼場所は、県道から市道へ入ったところである。
議員▼道路法の道路台帳(図面)に占有物件の記載の規定があるか。
市長▼道路台帳の図面に鳥居の表示ということでは表示はされていない。
議員▼道路台帳の図面に鳥居が表示されていることは、市側が熱日高彦神社に市道敷地を供与ではないか。
市長▼相互の供与については、ない。

議員▼公道によると、島田字島内1-1(宅地、境内)の位置は大和橋の北側のカーブとなっており、市道敷地として利用しているのを「相互の供与」ということではないか。
市長▼熱日高彦神社所有地と市道敷地占有状況にある鳥居との関係での相互供与ではない。
議員▼日本国憲法第89条「公金その他の公の財産は、宗教上の組織若しくは団体の使用、便益若しくは維持のため、又は公の支配に属しない慈善教育若しくは博愛の事業に対し、これを支出し、又はその利用に供してはならない。」とあり、供与ではないのか。
市長▼指摘の神社境内の道路状況については、供与と云われれば当てはまるかもしれないので、その土地は早急に対応したいと考えている。また現在、市道敷地を占有状況になっている鳥居ほかについては、時間がある程度必要なものと考えている。

議員▼公道によると、島田字島内1-1(宅地、境内)の位置は大和橋の北側のカーブとなっており、市道敷地として利用しているのを「相互の供与」ということではないか。
市長▼熱日高彦神社所有地と市道敷地占有状況にある鳥居との関係での相互供与ではない。
議員▼日本国憲法第89条「公金その他の公の財産は、宗教上の組織若しくは団体の使用、便益若しくは維持のため、又は公の支配に属しない慈善教育若しくは博愛の事業に対し、これを支出し、又はその利用に供してはならない。」とあり、供与ではないのか。
市長▼指摘の神社境内の道路状況については、供与と云われれば当てはまるかもしれないので、その土地は早急に対応したいと考えている。また現在、市道敷地を占有状況になっている鳥居ほかについては、時間がある程度必要なものと考えている。

議員▼軽トラックを改造して、発電機・ガスボンベ・浄水器を搭載した災害支援車の導入について検討する考えはないか。
市長▼現時点で導入する考えはないが、今後も情報収集に努めていく。
議員▼この災害支援車は、特に山間地(西根地区や小田地区など)に有効と考えるが、市長の考えを問う。

市長▼2年前の東日本台風などの水害を教訓として、更なる調査・研究を進めたい。
議員▼市が行う防災訓練や自主防災組織などが行う防災訓練などで、この災害支援車を使って、川の水をろ過し、その水を使って炊き出しなどを実施するのにも有効だ。
市長▼議員提案も有効な訓練であるが、飲料水については備蓄飲料水と緊急時の応援給水体制で可能と考える。災害時は、自衛隊などによる炊き出しを行っており、実情に即した訓練を実施していく。

議員▼まずは市で1台購入し、デモンストレーションを行い、希望する自主防災組織に貸し出すことも有効だ。
市長▼今後、様々な展開が想像できるので、議員指摘のところを考慮に入れながら対応したい。

議員▼市道敷地に鳥居設置や、市道敷地に神社所有地を利用していることについて
市長▼市道敷地に鳥居設置や、市道敷地に神社所有地を利用していることについては、相互の供与ではないか。
市長▼熱日高彦神社所有地と市道敷地占有状況にある鳥居との関係での相互供与ではない。



市道敷地に鳥居設置や、市道敷地に神社所有地を利用していることについて

日下 七郎

一般質問とは、角田市のさまざまな課題等に対して、市長や教育長などに対し、事務の執行や将来の考えなどを質すことです。質問は一问一答で、議員1人につき30分以内(答弁時間は含めない)で行われます。
質問した議員ごとに要約してお知らせします。(その他の質問の要約は掲載されておりませんので、録画中継の配信をご視聴ください。)

質問議員(質問順)	質問項目	頁
武藤 広一	災害支援車「LCX」の導入について 育児家庭への紙おむつ無償提供について 市道敷地内に鳥居設置や、市道敷地に神社所有地を利用していることについて その他の質問 ・特定再生可能エネルギー発電設備に係る固定資産税課税に関するについて ・地方公共団体実行計画の策定について ・島石農村公園の工事・開設時期と取付け道路について	5
日下 七郎	角田市内の小・中学校の校則問題について 角田市におけるデジタル化政策の課題について 公益財団法人角田市地域振興公社の今後のあり方について 市政への市民参加について	5
八島 定雄	角田市のスクールバスの運行について その他の質問 ・安全な遊具等の維持について ・指定管理者の収益事業促進について	6
星 隆悦	「若い世代が住み続け、お年寄りが安心して暮らせる角田市」について 企業誘致と交通ネットワークの整備について	6
小湊 毅	送る用紙に希望する紙おむつの種類などを記入して申し込むと、毎月1回、赤ちゃん一人当たり1,500円相当の紙おむつを受け取ることができるとのこと。紙おむつは、市から委託を受けた業者が調達から配達までを行い、訪問先家庭では親子の見守りも行うとのこと。令和4年7月の開始を目指し、今年度中に委託業者を決めるなどの準備を進める方針だ。小松市の市長は「市の子育て支援の一環として、単なる配達サービスではなく、おむつの手渡しを通じて、子育てに関する情報などを市から家庭に伝える制度にしたい」と話している。単なる配達ではなく、子育てに関する悩みや困りごとなどが相談でき、一石二鳥のサービスだと感じている。市で取り組むことについて、市長の考えを問う。	7
菊地 利衛	送る用紙に希望する紙おむつの種類などを記入して申し込むと、毎月1回、赤ちゃん一人当たり1,500円相当の紙おむつを受け取ることができるとのこと。紙おむつは、市から委託を受けた業者が調達から配達までを行い、訪問先家庭では親子の見守りも行うとのこと。令和4年7月の開始を目指し、今年度中に委託業者を決めるなどの準備を進める方針だ。小松市の市長は「市の子育て支援の一環として、単なる配達サービスではなく、おむつの手渡しを通じて、子育てに関する情報などを市から家庭に伝える制度にしたい」と話している。単なる配達ではなく、子育てに関する悩みや困りごとなどが相談でき、一石二鳥のサービスだと感じている。市で取り組むことについて、市長の考えを問う。	7

ライブ・録画配信をやっています

<http://www.kakuda-city.stream.jfit.co.jp>
インターネットを利用したパソコン・スマートフォン・タブレット端末及び市役所東庁舎1階の市民ホールのテレビでもライブ中継をご覧になります。
また、インターネットによる録画中継の配信も行っております。

角田市議会 映像配信 検索

第415回(令和3年12月)定例会
インターネットライブ中継視聴者数 延べ 413人

インターネット録画中継視聴者数
10月~12月 延べ 602人

質問議員(質問順)	質問項目	頁
相澤 邦戸	角田市第6次長期総合計画前期基本計画(案)第4章まちづくり 第1節 市民力を活かしたまちづくりについて 脱炭素社会の形成について	8
柄目 孝治	「みやぎ型管理運営方式」の施行と「角田市水道ビジョン」の関連について 阿武隈急行線の利用促進に向けた、角田市内の駅の管理体制について	8
菅野 マホ	「安全安心なまちづくり」のための防犯灯の設置について これからの角田市の教育について	9
堀田 孝一	マイナンバーカードの普及促進について	9



角田市内の小・中学校の校則問題について

八島 定雄

議員▼市内の小・中学校の校則は、どのような経過で決定されてきたか。

議員▼なぜ校則を守らなければならぬか、子ども達に説明しているか。

議員▼校則に、校則を定める方法を明記しているか、現状を問う。

議員▼最近、校則を変更した事例はあるか。

教育長▼校則は、合理的な範囲内であることはもちろん、決まりを児童生徒が受け身の守ることではなく、自ら進んでその意義や内容を理解し、自らの意思で決まりを守る

議員▼教職員、保護者、子ども達の三者で子どもの基本的な権利の尊重と教育についての真摯な議論をくぐらせて、見直しを進めることが大切だと考えるが、どうか。

教育長▼児童生徒や保護者が何らかの形で参加する方法を取りながら、学校評議員に意見を聞くなどして、校則見直しの検討をできることから行っていく。

議員▼現在のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進計画の進捗状況は。

市長▼各業務担当課が主体的かつ積極的に検討し取り組んでいく必要がある。

角田市のスクールバスの運行について
小 湊 毅

議員▼現在、角田・桜・西根小学校、北角田中学校でスクールバスを運行している。来年度より北郷・西根小学校の統合、角田・金津中学校の統合により、北郷小学校、角田中学校でのスクールバスの運行が始まる。児童生徒の通学手段の確保のため、スクールバスの運行は非常に重要なもので

教育長▼現在の運行ルートを実際の時間を通ったことではないが、日没の早いこの時期に、実際の運行時間でルートを走行し、自分の目で現地の状況を確認したい。児童生徒が乗降するバス停と児童生徒の住所は教育委員会でも把握している。

議員▼確認の際、車を停めて実際に歩いてみて欲しい。バスを降りてから家までの間の街灯がほぼないなど本当に真っ暗なところもある。子ども達がどういう通学の仕方をしているか、体験してみたい。

教育長▼非常に大事な視点だと思つて。全てとはいかないが、ルートごとに現地の確認をしたい。

議員▼来年度から新たに運行される予定のルートについても確認をするか。

議員▼今後のあり方を問う。

市長▼公益財団法人なので、収益の扱いは制約される。状況変化に対応し、時代に合った組織に能動的に変化すること、自立変革が必要と考える。

公益財団法人角田市地域振興公社の今後のあり方について

星 隆 悦



議員▼道が駅かくだを管理・運営している「株式会社まちづくり角田」と合併し、Kスポ(体育施設エリア)と道の駅かくだを一体的に管理・運営し、稼ぐ行政を実現すれば、赤字が解消できると考えるが。



▲Kスポ

市長▼慎重に協議をしていくべきと考えている。

議員▼「シビック・プライド」とは、まちや地域に対する市民の愛情、誇り、共感といった思いを挺子(てこ)に、市民もまちの当事者として、行政、議会、市民がいわばワンチームとなって、住みよいまちを創っていくという考え方であるが、見解を問う。

市長▼都市に対する市民の誇りを指す言葉である「シビック・プライド」は、単に地域に対する愛着を示すだけでなく、自身自身が関わって地域を良くしていくこととする、当事者意識に基づく「負心」を意味し、こうした「シビック・プライド」を持つ市民には、まちづくりへの積極的な参加が期待できると認識している。



▲どんと祭



「若い世代が住み続け、お年寄りが安心して暮らせる角田市」について

菊地 利 衛

議員▼「集落機能や生活環境が維持できない」「買い物に行けない」「病院に行けない」など、10年後の生活に不安を抱いている人が多数いる。策定中の第6次長期総合計画(10カ年計画)を以て、安心して、いきいきと、誇らしく暮らせるまちになることを市民が思い描けるか。

市長▼ワークシヨップや区長への説明会、シンポジウムなど、できる限りのことを行つたので思い描ける。

議員▼10年後の目標が、市民にも、市職員にも伝わり、夢や希望が持てるようにすべきだ。



角田市第6次長期総合計画前期基本計画(案)第4章まちづくり 第1節 市民力を活かしたまちづくりについて

相澤 邦 戸

議員▼市民力の醸成、市民活動の支援等をするため市民活動センターを設置するとしている。第5次計画でもできなかったのは初期段階における支援の不足だと思うが、どう捉えるか。市長▼各自治センターにその機能が整備されており、中心に1カ所置いていくところまで至らなかった。議員▼初期段階での支援を十分してほしい。これに地域おこし協力隊制度を利用してはどうか。市長▼積極的に利用していきたい。現在、道の駅で一人、(株)veelで二人活動している。議員▼全国の中で角田市を選んで来てくださった方々である。希望に沿った仕事として働いているのか。市長▼そのように認識している。議員▼協力隊員の中に市民力の高揚、人材育成等市民活動を長年経験してきたおり、その力を角田市で発揮して働きたいという方もいると聞いているが、市長は承知しているか。

議員▼意見は伺っている。職員▼協力隊の方々にはぜひ働きたいところで希望に沿った活動をしていただきたいが、考えを問う。市長▼活動の中でも機会を設けて意見交換をした。議員▼KPI(重要業績評価指標)で市民活動支援センターの支援件数を5年後100件としているが、具体的な方法を問う。市長▼先進的な取組を行っている人とのつながり、情報の収集や提供、地域活動の連携支援等市民活動の場を広げる支援を行う。議員▼KPIで「環境に関する出席講座、学習会の参加者」の人数の減少の理由、またその内容について問う。市長▼コロナ対策や児童数の減少により開催が縮小された。内容は地球温暖化の対策、省エネのヒント等さらに充実させていく。議員▼第5次計画では低炭素社会、第6次では脱炭素社会と取組内容は違っている。市民にはしっかりとその内容を伝えてほしいが、どうか。市長▼努力していきたい。議員▼県では「ecoチャレンジみやぎ」を導入しエコアクションを促しているが、どう捉えているか。市長▼本市でも周知していきたい。議員▼市独自の方策として「ためトクカード」などを活用して、環境を考えながら楽しくポイントが貯まるようなやり方はどうか。市長▼環境について楽しく学びながらできる手法を前向きに検討していきたい。議員▼温暖化対策に取り組む決意を示す「気候非常事態宣言」をする自治体が増えている。本市もすべきと思うが、どうか。市長▼脱炭素社会へ向けた有効な手段と考え、宣言実施に向けて様々な検討をしていきたい。



阿武隈急行線の利用促進に向けた、角田市内の駅の管理体制について

菅野 マホ

市民から「横倉駅は怖くて利用できない」と相談を受け、各駅の様子を調査した。議員▼駅構内と路地の防犯灯設置を要望。議員▼無人駅、特に横倉駅構内は薄暗く、民家へつながる路地には日没後真っ暗な場所がある。市長▼私も現地に行って調査し検討させて頂く。議員▼「防犯カメラやドアホン端末でつながるホットライン導入を要望」。議員▼無人駅の車上荒らし等防犯上の懸念があり、駅が安心して利用できる環境にない。市長▼防犯対策として大変有効なので、阿武隈急行株式会社と協議をさせて頂きたい。議員▼横倉駅と南角田駅のトイレはコンクリート造りの汲取りトイレで薄暗く、女性は昼間でも怖くて使用できない。市長▼利用者数が減少している中で建て替えるのは難しいが、状況を見極めて改修を検討する。議員▼「安全安心なまちづくり」のための防犯灯の設置について。議員▼高校生より、角田駅間の通学路の所々に街灯がない暗い場所があり不安があると聞き、調査した。通学路には約14灯



▲小高い丘で人目につかない横倉駅

角田駅周辺や緊急避難場所への避難経路には約36灯の防犯灯設置が必要と考える。市長▼防災や通学路関係のことであり大事な観点かと思うので、今後調査をして検討させて頂きたい。議員▼前教育長から受け継いでいくこと、新教育長として①知育②徳育③体育の分野でどのように児童生徒を導いていくのかビジョンを問う。教育長▼「持続可能な社会を実現する人づくり」という大きな教育理念は継承する。①義務教育は真の学力向上を目指す。また、生涯学習の実現を支援する。②命と人権の大切さや、差別をしない行動を身につけさせる。③生涯スポーツの素地をつくる。「学びつて楽しい！」を新たに教育理念に加え、市民の誰もが夢と希望、自信と誇りを持つて前向きに語ることのできる角田の教育を目指したい。議員▼これからの角田市の教育について。議員▼「学びつて楽しい！」を新たに教育理念に加え、市民の誰もが夢と希望、自信と誇りを持つて前向きに語ることのできる角田の教育を目指したい。



▲●印：防犯灯設置希望箇所

「みやぎ型管理運営方式」の施行と「角田市水道ビジョン」の関連について 柄目 孝 治

議員▼令和4年4月開始予定の「みやぎ型管理運営方式」に関し、市長の認識は、この「官民連携事業」においては将来の料金上昇の抑制を図る事ができ、市民にとっても期待のできる事業であり、安定的な事業運営を期待しているとのことと解釈したが、今後の角田市の水道環境は何も変わらな... 議員▼「みやぎ型管理運営方式」に移行しても、安全・安心な水の供給がなされるものと考えている。今年度策定を進めている「角田市水道ビジョン」は、経営環境の変化や施設の老朽化、耐震化など現状と課題を反映するとともに、「角田市水道ビジョン」策定に... 議員▼「みやぎ型管理運営方式」に移行しても、安全・安心な水の供給がなされるものと考えている。今年度策定を進めている「角田市水道ビジョン」は、経営環境の変化や施設の老朽化、耐震化など現状と課題を反映するとともに、「角田市水道ビジョン」策定に... 議員▼「みやぎ型管理運営方式」に移行しても、安全・安心な水の供給がなされるものと考えている。今年度策定を進めている「角田市水道ビジョン」は、経営環境の変化や施設の老朽化、耐震化など現状と課題を反映するとともに、「角田市水道ビジョン」策定に...

マイナンバーカードの普及促進について 堀田 孝 一

議員▼制度発足から6年が経過するが、本市のマイナンバーカードの普及率は低い状況にある。市長はどのように捉えているか問う。市長▼本市の交付状況は、令和3年11月末現在、31.88%と全国の交付率39.88%に比べ低い交付率となっているので、交付率向上のため、現在、土曜日・日曜日等も窓口を開設している。また、申請していない75歳未満の方に地方公共団体情報システム機構より、75歳以上の方へは県の後期高齢者医療広域連合より申請書を送っている。本市では、普及啓発チラシを9月1日に回覧で発信している。今後もマイナンバーカード普及促進については、広報かくたやホームページ等で引き続き啓発活動を行っていききたい。議員▼マイナンバーカード申請が進まない理由として、安全性に疑問を抱いている方が多いと思われる。解消するために、各地区に出向き、対面での説明及び申請受付等も実施すべきと考えるが見解を問う。市長▼各地区に出向き、出張サービスを実施することが交付率向上につながる方策であると考えている。先進地においては、タブレット端末を準備し、写真を撮り申請の手伝いをするなどにより、機械操作が苦手な高齢者への支援もでき、取得率が向上した事例も聞いている。今後、様々な検討をしていきたい。議員▼行政としてデジタル化は避けて通れない課題である。マイナンバーカード取得にしても、市民やそれを必要とする人にだけ寄り添った対応ができ、市民が主役の行政サービスに徹する必要があると考えるが所見を問う。市長▼マイナンバーカードを活用した行政手続のオンライン化など行政のデジタル化への取り組みを進めていく上では、市民目線で考えていかなければならない。市民が何を欲しているかを見極めながら必要なサービスを見出し、タイムリーに提供していきたい。また一方で、市民全世代間で情報格差が生じないように、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化を推進していきたい。議員▼マイナンバーカード普及とともに、カードを利用した市民サービスの準備が必要と思うが所見を問う。市長▼行政手続のオンライン化やデジタル化に向けた取組を積極的に進めたいと考えている。具体的には、健康保険証への利用、図書館貸出カード、避難所の入退館管理など、マイナンバーカードの独自の活用についても関係課と協議を図りながら進めていきたい。その他に買い物での利用など、商工会等とも相談しながら市民サービス向上に向けて各分野において様々な検討を行っていききたい。

貴重なご意見をお聞かせください!!

議会だよりモニターを募集します

角田市議会では、議会だよりのより一層の充実を図るため、「議会だよりモニター」を募集します。

活動内容

5月・8月・11月・2月に発行する「かくだ市議会だより」を読んでいただき、アンケート調査に回答（意見）をいただきます。

応募要件

令和4年度中（4月1日から令和5年3月31日まで）に満16歳以上の方で、次の(1)か(2)に該当する方

- (1)市内に居住する方
- (2)市内に通勤・通学する方

※薄謝を進呈予定です。

募集定員

30人以内（応募者多数の場合は先着順になります。）

任期

2年間

申込方法

2月28日（月曜日）までに、任意の様式で①氏名、②生年月日、③性別、④住所、⑤電話番号、⑥職業、⑦アンケート調査の回答方法（メール・FAX・郵便）を記入のうえ、メール、FAX、郵便で下記申込先までご応募ください。

【申込先・連絡先】

角田市議会事務局 〒981-1592 角田市角田字大坊41

電話：(0224)63-2124 FAX：(0224)62-4829 E-mail：gikai@city.kakuda.lg.jp

編集後記

寒い日が続きますが、お元気でいらっしゃいますか？

マスク生活が日常となって約2年。口元が見えず、表情からお相手の気持ちを読むことが難しい時があります。”分かってきている”と思わずに、お互い「嬉しいよ」、「悲しいね」と、正直な気持ちを一言添えるのも、円滑なコミュニケーションには大切かもしれませんね。

さて、登下校の子どもたちの挨拶が一時より、明るくはっきり聞こえるようになりました。私も元気をもらっています。

春はゆっくりと、でも着実にやってきています。

議会だより編集会議

委員 菅野 マホ

2月定例会の予定

会期

2月17日(木)～3月15日(火)

本会議の日程（午前10時開会）

2月17日	提案理由の説明
28日	質疑・自由討議
3月7日	会派代表質問・討論・表決
11日	一般質問
14日	一般質問
15日	最終日

●予算審査特別委員会は

2月28日、3月2日・7日・9日・10日に開催

※日程は変更になる場合があります。

※本会議と予算審査特別委員会はライブ配信（QRコードは4ページ）を行います。

※傍聴は、新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、随時ホームページでお知らせいたします。

「請願」及び「陳情」をされる方へ

市民の皆さんのご意見や要望を市政に反映させるため、請願及び陳情の制度があります。

議会招集日の7日前までに提出された請願及び陳情は、その定例会中に審議されます。

ただし、角田市に直接関係のない場合には、不採択になることもあります。

◎請願書には、1人以上の紹介議員の署名又は記名押印が必要です。（陳情書には必要ありません。）

請願・陳情の提出期限は

2月10日（木）まで

